



夏から秋、そして冬へ・・・季節の移ろいと共に充実した毎日を 81日間の2学期がスタートしました

8月23日（金）に、2学期の始業式を行いました。暑さ対策のために放送による式となりましたが、各教室には、たくさんの経験をおしてひとまわり逞しくなった生徒の皆さんの顔が揃い、校長の式辞に真剣に耳を傾ける様子が見られました。2学期は、暑い夏から過ごしやすい秋、そして冬へと季節が移ろいゆく日々となります。山形の四季を感じながら充実した毎日を過ごしましょう。運動会・合唱コンクール等、大きな行事をおして自分自身・学級・学年が成長できる、充実した81日間になることを期待しています。

【2学期始業式 校長式辞】

皆さん、おはようございます。今朝、元気に登校してくる皆さんの様子を眺め、久しぶりにあいさつを交わしながら、こうして「当たり前」のように、皆さんと2学期の新たなスタートを切れることを心から嬉しく思います。思い起こせば、夏休みに入る直前の7月25日の記録的な大雨から、ちょうど4週間。県内の被害の大きかった住民の方々が、「当たり前の日常」を取り戻そうと奮闘するも、いまだ生活の立て直しには継続的な支援が必要な状況にあります。「局地激甚災害」の指定を受ける村の方が、「いろんな人から助けってもらって、ようやく前を向くことができるようになった」と涙ながらにインタビューに答えていた姿が忘れられません。8月8日の宮崎県沖 日向灘を震源とする地震、台風5号を皮切りに列島に豪雨や強風をもたらした台風7号。各地の甚大な被害に胸を痛めつつも、あらためて、皆さんと「当たり前の日常」を送れる幸せに、感謝の念でいっぱいの2学期のスタートです。

夏休みを終えた今、皆さんはどんなことが印象に残っていますか。連日の猛暑の中、あるいは暑い時間帯を避け早朝から、体育館や武道館、グラウンドで元気に部活動に励む1・2年生の皆さんの姿から、来る市中新人大会への意気込みが感じられました。地区代表として県大会でさらに素晴らしい演奏を披露した吹奏楽部と、県代表として東北中学校バドミントン大会に出場し、力の限り戦い抜いた男子バドミントン部の健闘も光りました。2年生、桜花学年の名の通り、揃いの目にも鮮やかなピンクのTシャツが躍動した花笠パレードも、暑い夏の夜の思い出に残ります。3年生の皆さんは、三者面談や高校のオープンスクールを通して、将来を展望し、自分と向き合うことが多い夏休みだったでしょう。

印象的なことと言えば、夏休みのスタートと共に開催されたパリオリンピック。テレビの画面越しに、日本選手の笑顔と涙、そこに至るまでの葛藤やドラマから、たくさんの感動と勇気をもたらした人も多いことと思います。努力するフィールドは違っても、努力する姿は、これほどまでに自分自身を、そして周りの人を元気づけるのだ、と実感しました。

さて、今日から始まる2学期は、1年間で一番長く、そして最もやりがいを実感できる「成長の学期」です。来月には市中新人大会、10月には運動会・合唱コンクールと、大きな行事が目白押しです。行事は個人を、集団を成長させる「とっておき」の機会。「なりたい自分」や「つくりたい校風」づくりにふさわしい学期です。

そこで、2学期始業式にあたり、皆さんに贈りたいことばがあります。それは、「手間を惜しまない」です。面倒だなと思うことでも、手間を惜しんで流してしまうと、逆に、後々、無駄や面倒が多くなるものです。メールで済ませば楽なことも、大切なことは「面と向かって自分のことばできちんと伝える」、あいさつには「笑顔を添えて」、仲間への感謝のことばには自分の思いを「一言添える」ひと手間…。人と人の良い関係・絆づくりは、こういった「ひと手間」の積み重ねこそが重要だと思います。日常生活の中での掃除でも、係活動でも、もちろん授業の学び合いや家庭学習・受験勉強でも、そして、行事の準備や運営でも、決して手間を惜しまない。「これぐらいでいいかあ」と思っている「その一歩先」まで考えたり、相手を思いやった言動をとったり、常に頭を使って日々小さなことにも工夫を加える。裏を返せば、その「ひと手間」には、「見えないところで手を抜かない」という自分自身への誠実さと、相手を思いやる「気遣い・やさしさ」がこもっていると思うのです。

さあ、81日間の2学期のスタートです。ひと手間を惜しまずに、「明るく、元気に、前向きに」大いなる躍進の学期にしましょう。

*** 大きな舞台での経験を今後の糧に ***

～ 吹奏楽コンクール県大会 ・ 東北バドミントン大会 結果 ～

8月4日（日）にやまぎん県民ホールにおいて、吹奏楽コンクールの山形県大会が開催されました。本校の吹奏楽部は村山地区大会と同様、蔵王一中さんとの合同チームを組み、大会に臨みました。地区大会から僅かの練習期間でしたが、メンバーの一人一人が初心に戻り、より納得のいく音作り・音楽作りを目指して当日のステージに立ちました。結果、「銀賞」をいただき、演奏後には、自分の力を全て出し切った満足感溢れる笑顔が見られました。

また、県大会を準優勝で飾った男子バドミントン部（団体）が、8月7日（水）に宮城県利府町セキスイハイムスーパーアリーナで行われた東北大会に出場しました。全国の舞台を目指して、酷暑の中、体育館でひたすらシャトルを打ち続けるメンバーの姿から、目標に向かう信念が感じられました。結果は一回戦惜敗（対青森県代表：浦町中0-3）となりましたが、強豪校を相手に精一杯戦い、得るものの多い試合となったことと思います。

2つの部とも、今回の貴重な経験をそれぞれの糧として、次の目標に向かって精進してほしいと思います。

*** 地域の皆さんと繋がり、地域のよさを感じた夏休み ***

★【出羽地区】小中学生との意見交換会（7/28・日）

出羽コミュニティーセンターにおいて出羽地区町内会連合会の皆さんと本校の生徒（8名）・出羽小学校の児童の皆さんが参加し、出羽地区のよさ、また、今後に期待すること等について意見を交わしました。

地域の一員として、これからも地域の皆さんと関わりながら生活していく七中生です。様々な場面で地域の皆さんが七中生を温かく見守ってくださっています。地域をよりよいものするために自分たちにできることは何かを考える、とても貴重な時間となりました。



*** 熱い！暑い！2年生が「花笠まつり」に参加 ***

8月7日（水）に学年の親子行事として参加しました。連日の猛暑の中、体育館やグラウンドで練習を重ねてきた2年生。当日は直前まで雷雨に見舞われ、開催が心配されました。しかし、2年生の熱い気持ちで雨も上がり、たくさんの保護者の皆さんにもご参加いただき、頭には「セブタオル」、お揃いのオリジナルTシャツを着て、「ヤッショ～マカショ 山七中！！」の元気なかけ声を響かせながら、思い切り躍動しました。沿道で観覧・応援した他学年の生徒・保護者の皆さん、また、本校の教職員も熱気に包まれ、山形の風物詩「花笠まつり」を十分に楽しみました。本校では、全校生徒が花笠に取り組んでいます。



10月10日（木）（予備日は11日・金）に行われる秋季大運動会では、全校生徒による花笠を披露いたしますのでどうぞご覧ください。



★9月に行われる市中新人大会、10月に行われる運動会・合唱コンクール、そして、3年生は受験に向けて力を伸ばす2学期です。これからも、生徒一人一人が生き生きと輝く教育活動を展開して参ります。